

Minamigaoka HICKENSNEWS

平成 25 年 4 月 No.181 号

代表 比藤 信雄

3月20日に卒団式を終え、20名の子供達が巣立って行きました。たくましく成長した彼らの姿を見ると、本当に感慨深いものがありますね。お祝いの会であると同時にお別れの会でもあるという毎年とても複雑な気持ちです。

そして私は、卒団式を終えるといつもこんな事を思います。

卒団した彼らが「南ヶ丘キッカーズでサッカーをやっていたんだ」と胸を張って言えるようなチームにしなければ！

誓いを新たに、より一層頑張りたいと思います。

さて、2013年度がスタートしました。

今年は、南ヶ丘キッカーズが誕生して35周年という節目の年にあたります。

35年の歴史を振り返り、今を見つめ直し、未来に向けて新しいスタートの年にしたいと思います。また、35周年を記念して南ヶ丘カップの開催や記念品の作成なども予定しています。まだ何も決まっていますが、35周年記念行事委員さんを中心にこれから考えていきたいと思っています。

昨年から進めてきた新しい指導方針も、いよいよスタートします。

これは何度か説明をさせていただきましたが、チームの活動中だけではなく各家庭での御協力が不可欠となります。子供達を立派なサッカー選手に育てるためという目標だけではなく、立派な大人に成長してもらうために、という大きな目標もあります。

どうか、御理解と御協力をよろしくお願い致します。

今、これに関する書籍を集めていますので、いくつか揃いましたらまた御紹介させていただきます。

代表を務めさせていただいて4年目を迎えますが、今後ともよろしくお願い致します。



副代表 山出 祐亮

陽気もポカポカと穏やかになり、すっかりサッカーシーズン到来です。

昨年度は、「合宿地の変更」「3年生の合宿帯同」「奇数学年のオーシャンズリーグ参加」と初めての活動がいくつかありましたが、役員さん・保護者の皆様、コーチの皆様のご協力が無事に乗り越える事が出来ました。ありがとうございました。

さてさて、その中でも去年一年間で時に皆様で話し合ってきた事が子供達の「自立」についてです。

今年は、総会で提案させて頂き、チームの指導方針の大きなキーワードになると思います。

分からない事はたくさんあると思います。つつい手を出してしまう事たくさんあると思います。

でも失敗を恐れず、時には我慢して、皆さんで協力して取り組んでいければ考えております。

今年は、子供達だけでなくコーチ・保護者みんなが失敗に恐れず挑戦する一年になればと考えております。

まだまだ至らない点が多々あると思いますが、今年度もよろしくお願い致します



副代表 林 誠二

すっかり春の陽気になりました。春は新しいことにチャレンジする方も多
いかと思います。

昨年度より、南ヶ丘キッカーズの指導方針に「自立した子どもを育てる」
という目標が新たに項目に加わりました。指導者は常にチャレンジです！
「昔はこのやり方で子供たちは成長してくれた」という思い出に浸ってい
ては、今の子供たちも指導者自身も成長できません。私たちは常にチャレンジ
する気持ちを持って、新しい指導方法や練習方法に取り組んでいます。
そういう指導者の姿を見て子供たちもその練習に、そのプレーに積極的にチャレンジしてくれてい
るのかなと思いつつ始めているコーチ在籍歴10年になった今日この頃。

自立した子ども(人間)を育てるための環境は、可能な限りのご家庭でのチャレンジも必要です。
今年の春は子供と親とともに成長していくために新たな取り組みにチャレンジしてみませんか？
どうしたら良いのかわからない方も多いと思います。

チームのみんなの良い方法を模索しましょう。いい方法があったら是非教えてください。
さっそく取り組もう！え？いつやるか？？

今でしょ！！



平成24年度 卒団式 (平成25年3月20日 下永谷小学校に於いて)



努力賞 各学年2名

6年	紺野 拓海・古田 海斗	3年	石井 珠羽・柳原 健二郎
5年	南淵 景太・荻久保 賢	2年	豊田 聖七・伴野 達也
4年	濱崎 大宙・岩瀬 望	1年	野一色 篤史・石井 翼

六年生



五年生



四年生



三年生



一年生・二年生



二月に子供たちの自立についての方針説明会が行われました。

そこでお話がありましたロジカル・コミュニケーションについて、三森ゆりかさん監修の著書「イラスト版ロジカル・コミュニケーション」よりご紹介したいと思います。

◎ロジカル・コミュニケーションとは？

論理的な思考にもとづくコミュニケーションのことです。

ロジカル・コミュニケーションの技術を身につけると、自分の考えを相手にわかりやすく伝えられるようになります。

◎ロジカル・コミュニケーション基礎編

小学生の場合はすでに言葉が身につけてしまっているので、それを修正するためには、親だけでなく子供自身も意識して家庭内の言葉のやりとりを見直すことが大切です。

1. 相手の目を見て、大きな声で話しましょう。

コミュニケーションの第一歩は挨拶です。

あまりにもあたり前すぎて、おろそかになっていませんか？

上手に挨拶できることは、楽しい社会生活を送るための基本です。



2. 人に物を頼む時は、ていねいに。

レストランで… 「コーヒー」と単語だけではなく「コーヒーお願いします」

家で… 「バター」と一言ではなく「バターをとってください」

人により印象を持ってもらうことは重要です。

相手に何かお願いしたい時は、ていねいにお願ひしましょう。

3. 主語「だれが」「なにが」を意識しましょう。

きのう遊園地に行ったんだよ。楽しかったって。
サッカーの試合があったんだ。おもしろかったよ。



きのう**弟は**、遊園地に行ったんだよ。楽しかったって。
ぼくは、サッカーの試合があったんだ。**試合は**、おもしろかったよ。

※主語をぬいて話しだすと、聞き手は主語に「ぼく」が入るものだと考えます。

4. 「みんな」ってだれ？

「みんな」のかわりに、第一人称主語を入れ、言葉に責任を持ちましょう。

お母さん、**みんな**が海に行くから、私も行きたい！



お母さん、私が泳ぐのを好きなのを知っているでしょう。
でも**私は**プールでしか泳いだことがないから、海へ行きたいわ。

5. 「あれ」って何？

「あれ」という言葉を使った為に、自分の考えが相手に伝わらないことがよくあります。
毎日のコミュニケーションの中で、できるだけ「あれ」を使わないように意識しましょう。

あんまりやりすぎると、**あれ**だからね。適当にしておいたほうがいいわ。

あんまりやりすぎると、**問題がこじれる**からね。適当にしておいたほうがいいわ。

6. 「ちょっと」って？

どこへ行くの？

何をしに行くの？

ちょっと。

ちょっと…。

→何か隠し事でもしているのかしら…。

何でも「ちょっと」でごまかしていると相手の信頼を失うことにもつながります。

親子で「ちょっと」を禁句にしてみてもいいかもしれません。

7. 「とか」弁

ぼくはサッカー**とか**が好きだ。フォワード**とか**になりたいな。

「とか」を使うのは例を2つ以上あげる時です。

「とか」の本当の意味を意識しないで、自分の意見をぼかしの意味で使っている場合
「とかってほかに何かあるの？」と聞き返しましょう。



ロジカル・コミュニケーションについて、少し御理解いただけただけでしょうか。



毎日の会話を意識して話していただける、きっかけになればと思っております。

～広報からのお知らせ～

キッカーズニュースではみなさんからのご意見や楽しい話題・試合の写真などの投稿を募集しています。

広報専用アドレス news@minamigaoka-kc.jp

HP管理人アドレス web-master@minamigaoka-kc.jp